

アカゲラ通信

2016年7月号
(公財)札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所



レストハウス営業中

旭山記念公園レストハウスは 10 時～17 時まで営業しております。

コーヒー、焼きそば、フライドポテト、肉まん、唐揚げ串、クッキー、
ソフトクリームなどをご用意してみなさまのお越しをお待ちしております。



「ツバメ」と「アマツバメ」

ツバメやアマツバメは高速ですいすい飛び、雨が近づくと低空飛行するなど、姿や行動様式が似ています。しかし、両者はよく似ているけれど実はまるで違う仲間で、ツバメは「スズメ目」「ツバメ科」、一方アマツバメは「アマツバメ目」「アマツバメ科」、たとえていうなら「人」と「犬」くらい違います。

このように本来違う仲間の動物が同じような形態になることを「収斂(しゅうれん)進化」といいます。

■アマツバメの仲間

札幌ではアマツバメとハリオアマツバメの 2 種が見られます。

旭山では 5 月下旬から 8 月くらいまでアマツバメが時々飛んでおり、ハリオはその中にたまにいることがある程度ですが、西岡公園では逆でハリオが多く、アマツバメはほとんど観察されることはありません。

アマツバメの尾羽は V 字型に切れ込んだ「燕尾」、距離感をつかみにくくて小さく見える上空を飛んでいる時は、肉眼では他のツバメの仲間(特にイワツバメ)と区別がつかないほどです。

しかし実際はアマツバメの体の大きさはイワツバメの 1.5 倍くらいあり、近くで見ると違いが分かります。

一方ハリオアマツバメは端がまっすぐに切れたような短い尾羽で識別は比較的容易です。

その尾羽は羽の固い基部が針金のように何本も出ていて針のように見えるのが名前の由来です。どちらも主に山や海岸などの岩崖で繁殖します。

■ツバメの仲間

本州では身近な野鳥である「ツバメ」、実は札幌にはいません。

札幌で民家の軒先などにツバメが営巣したという話を聞かないのはそのためです。

正しくは、「ツバメ」という標準和名の種はいないのであって、ツバメ科の他の鳥はいます。

札幌に多いのはイワツバメ、山地性で「ツバメ」より少し小さくて尾が短く、喉元が赤くないのが特徴です。

イワツバメはその名の通り岩崖で繁殖しますが、橋や高架などコンクリートの大規模な人工物に巣をかけることもあります。

「ツバメ」は道内では余市より西、黒松内より南に行くと普通に見られます。

しかし、「ツバメ」は道内でも生息地を広げる傾向にあり、札幌でも屯田遊水地などで単発的な目撃例はあるため、今後札幌でも普通に見られるようになるかもしれません。

旭山でも過去に一度だけ、5 月の移動時期にツバメの記録があります。

北海道には他にショウドウツバメもいますが、こちらは河川敷や海岸沿いなどの土手に集団で営巣し、日本では北海道でのみ繁殖する種類です。

そしてもう 1 種コシアカツバメは道南を中心にいますが少ないです。

などなど、今回は、旭山の野鳥観察会ではあまり出てこない鳥のお話でしたが、アマツバメは旭山でも年に数回上空を飛び交っている姿を見ることがあるので、ぜひ探してみてください。

アマツバメ→



イワツバメ→



次回「早朝野鳥観察会」8月6日(土)

次回の「早朝野鳥観察会」、8月6日(土)に行います。

↓センダイムシクイ

参加ご希望の方はに「森の家」までお電話もしくは直接お越しの上お申し込みください。

定員に達しない場合は HP でお知らせしますので、当日直接「森の家」にお越しください。

●8月6(土) 7時(時間にご注意ください) 参加費 100 円(保険代) 定員:12 名

※双眼鏡貸出は数に限りがあるのでご希望の方は事前にお申し付けください。



カルチャーナイト 2016 「ウッドカトラリー作製体験会」 7/22 (金)

毎年7月、公共施設や企業などを夜に一般開放しイベントを行う「カルチャーナイト」。

旭山では今年「ウッドカトラリー作製体験会」を行います。

「ウッドカトラリー」とは、木でできたスプーンやフォークなどの食器で、今回はスプーンを作ります。

講師は「近所のおじさん」と木工作家の浦口護さん、アイヌ民芸品作家の須田精二さんです。

世界にひとつ、自分だけの木のスプーンを作つてみませんか？

ご参加お待ちしております！

■ウッドカトラリー作製体験会 2016年7月22日(金) 17時～20時

■旭山記念公園「森の家」

■参加費ひとり200円(保険代、材料費込み)

■定員20名 ※事前予約をお願いします

どんな
スプーンが
できるかな！？



公園のチョウを訪ねてみよう～街と蝶のチョウ超イイ関係～ 7/31(日)

昨年の「カルチャーナイト」に続いて今年も蝶のイベントを行います。

北海道新聞やネイチャー情報誌「faura」の連載などで自然情報を発信する長谷川雅広さんを講師にお招きし、旭山記念公園という里山的環境における植物と蝶の関係と環境保全について考えます。

などと書くと堅苦しいですが、当日は蝶の捕獲調査(後に放します)、そしてオオムラサキ保護の観点から幼虫の越冬に必要な落ち葉をためる木の枠「エコスタッフ」作りと、野外での活動が中心のプログラムです。

この夏はチョウにちょっとだけ詳しくなってみませんか！？

夏休み企画ですが年齢は問いません、大人だけのご参加も歓迎です、ご参加お待ちしております！

●当日の流れ：先生のお話→野外観察→「エコスタッフ」作り→お昼休み→午後の観察とまとめ

■公園のチョウを訪ねてみよう～街と蝶のチョウ超イイ関係～

2016年7月31日(日) 9時半～15時 小雨決行

■旭山記念公園「森の家」集合 ※公園内で観察など行います

■参加費ひとり100円(保険代として) ※事前申し込み要

※捕虫網をお持ちの方はご持参ください(貸出は行いません)

※お昼時間を設けていますが、お昼は各自ご持参ください(レストハウスにて軽食販売しています)

※※オオムラサキは捕獲しません※※



写真で見る旭山ミニ博物誌



ウメガサソウ↑
6月下旬～7月上旬、旭山では「ハルニレ広場」の1カ所だけに出ます。



旭山で見られる動植物の写真を紹介するコーナー、今回から「写真で見る旭山ミニ博物誌」として連載にしました。

←ヒツヅバイチャクソウ
6月下旬～7月上旬
都市環境林にこのひと株だけあります。



カラスヘビ↑
シマヘビ黒化型、数は少ない。毒はありません。



アカハネムシ↑
6月中旬～7月下旬、比較的よく見る甲虫の仲間です。

編集後記

「カルチャーナイト」で今年は「ウッドカトラリー作製体験会」を行います。

旭山で出る倒木などを薪の他にも材として利用できそうなものがあり、

今回のイベントで学ぶことを生かして、将来的には、旭山の木をより広く活用することにつなげてゆきたいです。ご参加お待ちしております。



公式サイト

「アカゲラ通信」 第32号 2016(平成28)年7月3日発行

発行：(公財) 札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所

住所：〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目

連絡先：電話 011-200-0311 (土・日・祝日 10時～16時) FAX 011-200-0351

<http://www.sapporo-park.or.jp/asahiyama/>